

公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 部分公開 <input type="checkbox"/> 非公開
----------	--

令和6年度第2回浜松市母子保健推進会議 会議録

1 開催日時 令和7年2月13日（木）午後1時30分から午後3時10分

2 開催場所 浜松市口腔保健医療センター 講座室

3 出席状況 委員

[現地参加] 石井 廣重委員、伊東 宏晃委員、鹿野 共暉委員、齋藤 由美委員、
杉浦 弘委員、多々内 友美子委員、田中 敏郎委員、
本目 恵子委員、室加 千佳委員、森園 直美委員
事務局 平野 由利子（健康福祉部医療担当部長）
板倉 称（健康福祉部医監）、渥美 雅人（健康増進課長）、
小笠原 雅美（健康増進課長補佐）、伊藤 梓（健康福祉部技監）、
仲谷 美樹（子育て支援課家庭支援担当課長）、
健康増進課職員4名、子育て支援課職員1名
オブザーバー 精神保健福祉センター職員1名

4 傍聴者 1人

5 議事内容

- (1) 令和6年度上半期 浜松市母子保健事業 事業実績報告
- (2) 令和6年度上半期 浜松市児童福祉事業 事業実績報告
- (3) 浜松市の出生数について
- (4) 令和5年度 産後ケア事業 実績報告
- (5) 令和5年度 こんにちはマタニティ訪問事業 実績報告
- (6) 産科・精神科・行政等の連携
- (7) 5歳児健康診査事業について
- (8) H P Vワクチン接種事業について
- (9) 令和7年度 母子保健事業の取り組み

6 会議録作成者 健康増進課母子グループ 菅沼

7 記録の方法 発言者の要点記録

録音の有無 ・無

8 会議記録

定刻の午後1時30分に開会し、事務局から資料の確認、委員の出席数の報告、情報公開の確認、報道機関の取材と傍聴者の了承、精神保健福祉センター職員1名（オブザーバー参加）の紹介を行った。

（1）令和6年度上半期 浜松市母子保健事業 事業実績報告

【事務局】事務局より資料をもとに説明。

【委員】昨年の母乳率が急に50%から30%に落ちました。産後ケア事業ですが、全国より利用率が高いことについて逆に言うと、何かいろいろな問題があるのではないかという見方もできます。産後ケア事業の申請理由の66%が、授乳についての不安とあります。もちろん新型コロナの影響もありますが、入院中にはほとんどの病院がミルクをやっています。母乳は始め4,5日ではほとんどの人が出ないので、お母さんが悩むのもよくわかります。また保育所でも、哺乳瓶に慣れてきてくださいというところがまだまだあります。そういうところもすべて含めて、行政の取り組み等を教えていただきたいと思います。

【事務局】私ども保健師は助産師さんとも連携しながら、妊娠期のころにちはマタニティ訪問や産後4か月までのころにちは赤ちゃん訪問、それから産後ケア事業においても、医療機関等と連携させていただきながら、いろいろな支援をしております。その中でご指摘の通り、体調の相談だけではなく、母乳育児の相談も数多くあります。ただ一方で、母乳を離れて自分の時間が欲しいと感じているお母様方も増えている印象があり、時代も少しずつ変わってきたと感じております。そのため私達も支援者も、母乳育児に限らず、利点や工夫できる点等を丁寧にご説明させていただき、その方にとって安心して育児ができるように、今後も進めて参りたいと思っております。

【委員】産後ケア事業については、この資料を見るだけと効果が出ていないのではないかと心配しています。これだけの方が母乳育児の不安を抱えて相談していますが、その結果がここでは見えてきません。

【事務局】産後ケア事業につきましては、病院さんから市に報告いただく内容の中で、母乳育児を継続して指導していくといったお声が確かに多いと感じております。来年度は、産後ケア事業の利用者の方に対してアンケート調査等を開始する予定であります。継続された指導や支援の結果、お母様方が今現在どのように思われているのか、またご指摘いただいた点も質問に入れながら状況を見ていきたいと考えております。

【委員】P.4表6より、妊婦歯科健康診査の受診率が50%ぐらいしかありません。妊娠中の歯をおろそかにすると当然虫歯になるリスクが上がりますが、その他にも早産や将来的には心筋梗塞、脳卒中、糖尿病、誤嚥性肺炎が増えるとも最近言われていますので、妊婦さんに伝わるようもう

少しお話していただけるといいかなと思いました。

【事務局】親子（母子）健康手帳をお配りするときに、必ず受診券のご説明もしております。その中で、妊婦健康診査だけでなく、歯科健康診査の大切さについても、専門職が必ず伝えるようにしております。確かに妊婦歯科健康診査の受診率は他の健康診査に比べ低い現状ですので、今後も周知の方をきちっとして参りたいと思います。

【委員】P.5 の新生児聴覚スクリーニング検査ですが、リファー児に対して新生児サイトメガロウイルスの検査をするということが徐々にスタンダードになりつつあります。リファー児の数を把握することと、その中で何人が新生児サイトメガロウイルスの検査を実施したかを把握していくようなシステムを作っていく必要があると思っております。実態把握のシステムづくりについて、市を挙げてぜひ実施していただければと思っております。

【事務局】リファー児については、その後どうなったかも含めて重要を感じておりますので、今後も取り組みの方を進めて参りたいと思います。

【委員】次年度に未熟児相談交流会の名称を変更いただくということで、ご対応ありがとうございます。当事者の方、先生方と話し合っていただけたというところで、とてもありがたいことだと思いました。お礼まででございます。

（2）令和6年度上半期 浜松市児童福祉事業 事業実績報告

【事務局】子育て支援課より、資料をもとに説明。

【委員】はますくノートについて、養育支援や発達障害のすくい上げが事業目的となっていますが、こども家庭センター開設にあたり重要な主要アイテムとなっています。使用実態や改善の余地を含めた支援事業に対する位置付けを踏まえて、次年度以降実績報告に入れていただいた方がよいと思いますが、いかがでしょうか。

【事務局】おっしゃる通りはますくノートにつきましては事業実績に記載がございませんので、来年度以降記載させていただきたいと思います。はますくファイルから最近小さなはますくノートに変わったことに伴い、紙面上に詰め込んでいた情報をデジタル化しております。保護者の方にとっては視覚的に記載場所がはっきりし、使いやすくなったところが変更点としてございます。今後につきましては子育てDXが進んできておりますので、そういったところも視野に入れながら、効果的な使用や継続した支援への寄与も含めて、検討の余地が大いにあると感じております。来年度以降そういうところも含めて掲載をさせていただきたいと思います。

（3）浜松市の出生数について

【事務局】事務局より資料をもとに説明。

【委員】15年前の7,200人から現在は4,500人まで減少しているという衝撃的な状況です。しかし、実感として母子保健行政はすごく良くなっていると感じます。母子保健行政がよく頑張ってくださっているだけでは、出生数は増加しないということですね。市として原因究明をしっかりと取り組んでいただかないと、この現象は止まらないのではないかと感じます。

【事務局】少子化対策連絡会におきましても筆頭課を中心に、各部局が検討を重ねています。他市よりも加速度的に出生数が減少していることについて、浜松市独自の問題と原因究明が大事だと思っております。また連絡会の筆頭課を中心に、そのような提案があったことをご報告できればと考えております。

【委員】議決組織でないですが、皆様がよろしければ、浜松市は出生数の減少について原因を解明・究明するような対策が急務であるということを、この会として市長さん宛に提言したいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】举手にて全会一致

【委員】全会一致を頂けたということで、浜松市は出生数の減少について原因を解明・究明するような対策が急務であることを市長さん宛に提言したいと思います。

(4) 令和5年度 産後ケア事業 実績報告

【事務局】事務局より資料をもとに説明。

【委員】利用児の月齢の分け方は、どういった定義か教えていただけますか。

【事務局】病院さんからいただいた利用時の月齢の報告をもとに、分けております。

【委員】そうすると0～3ヶ月の間、例えば1ヶ月未満や新生児期、出生直後が実は多いということですね。

【事務局】月齢が早いお子さんだと、レスパイトを含め不安をお持ちの方が産後に、入院が終わってそのままご利用されることが多いと思います。

【委員】すべての母子関係が出生直後から始まるので、そこをうまく乗り切り、なおかつ要フォローの方々が、それほど多くはないようですが本当にそれが多くなくてもよいのかを含めて見ていくと、その後の家庭環境やお子さんの発達に繋がっていくのではと思いました。

【事務局】月齢ごとと大きく括ってしまいますが、詳細を精査していくことで見えてくるものがあると思います。詳細については、改めて次回お示しいたします。また他のフォローの具合や申請理由、支障があった点等も含めて、まず把握に努めて、今後の質のところに活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

【委員】母乳率の低下について、家庭訪問により親御さんたちの考えを肌で感じますが、育休を取るパパたちがすごく増えており、数週間だけではなく、数ヶ月、半年、一番長いと1年取るという方もいらっしゃいました。その中で育児と一緒にやってもらいたい気持ちのママがすごく増えてきて、1,2回はミルクにしたい、パパに見てもらいたいという気持ちがあり、それが哺乳瓶を使うことに繋がっていると感じています。それだったらば搾乳をして哺乳瓶であげればいいじゃないかと思うかもしれません、まず自分が休むことが最優先で、まず赤ちゃんのことを考えるということが残念ながら少ないような印象です。保育園に向けて卒乳する必要はないことをお話し、パパたちには自分ができることというところで、例えば母乳育児ができるママであれば、ママのためにおいしいご飯を作るといった形での育児参加ができるとお伝えしています。しかし、やはり休みたい、1人になる時間が欲しいというのが今のお母さん方の本音であると感じ

ます。現在は、こんにちはマタニティ訪問からずっと関わることができますようになりましたので、励ましのお声がけをするよう心がけてはいますけど、1,2回はミルクにしたいといったお返事が返ってくることが圧倒的に多いです。

(5) 令和5年度 こんにちはマタニティ訪問事業 実績報告

【事務局】事務局より資料をもとに説明。

【委員】委員の皆様のご意見が特ないようですので、次の議題に移ります。

(6) 産科・精神科・行政等の連携

【事務局】事務局より資料をもとに説明。

【委員】オブザーバーで参加している精神保健福祉センターの方からご意見頂けますでしょうか。

【事務局】精神保健福祉センターの方でも、区の保健師に対して事例検討会や保健師の人材育成において、その時その時の状況に合わせて充実した内容となるよう引き続き連携を図っていきたいと思っております。

【委員】少し顔が見えるようになってきましたよね。

【事務局】以前より関係づくりが進んでいるという声は、よく聞かれるようになっていると思います。

【委員】非常に難しい課題ですが、少しずつ進んでいると感じております。

(7) 5歳児健康診査事業について

【事務局】事務局より資料をもとに説明。

【委員】未就園児と未受診の児にハイリスクが凝集するような気がします。そこを集団健康診査または訪問とありますが、よりシステムатイックに介入する必要があると思います。いかがでしょうか。

【事務局】5%の方が未就園児と想定されております。5000人の5%で約250人のお子さんは、必ずいるのではと思います。ご指摘の通り、既医療も含め未就園児のところは課題が多くありますので、未就園児だけのフローができるような形でもう少し詰めていければと考えております。

【委員】すごく期待しておりますので、ぜひいいシステムを作っていただければと思います。

(8) H P Vワクチン接種事業について

【事務局】事務局より資料をもとに説明。

【委員】1回は接種したという方にもぜひ個別通知をしていただきたいです。

【事務局】1回接種はしていますが、特例期間中3年間の内に1回も接種していない方も個別通知の対象とする予定です。

【委員】ありがとうございます。浜松市のH P Vワクチンはそもそも他府県に先駆けて勧奨を再開しており、随分とたくさん効率的に接種いただいていると思います。もう1つお願いですが、

集団接種の予算をぜひ確保していただきたいです。若い人であれば 2 回接種でよいので集団接種だけで終了できます。せっかく根づいた集団接種の文化を絶やさずに、定期接種の対象としてやっていただきたいです。是非ともお願ひします。

【事務局】令和 8 年度以降で検討させていただきます。

(9) 令和 7 年度 母子保健事業の取り組み

【事務局】事務局より資料をもとに説明。

【委員】拡大マススクリーニング検査についても実態調査をご検討いただきたいです。どれぐらい周知・実施されているのか等把握できるようシステムづくりをして、この会に何らかの形で出していただくような工夫をよろしくお願ひいたします。

【事務局】ありがとうございます。検討させていただきます。

【委員】産後ケア事業で 4 か月以降の児を受け入れた場合に拡充されますが、児が寝返りを打つ等いろいろなことが考えられます。ただ受け入れるだけではなく、きちんとどういった環境で預かってくれるかを確認していただく必要があります。金銭面の拡充は利用者にとってプラスですが、赤ちゃん側から見たときに、もう 4 か月で親じやない人がわかる子たちが、ただ休みたいために母子を離して他の部屋で預けられることについては、本来あまりよろしくないと思います。例えば保育士さんをつける等、きちんとした環境で預かれる手段を考えていただくようお願ひします。

【事務局】安全基準も含め、確認しながら進めていきたいと思います。ありがとうございました。

(10) その他

【委員】全体を通してご意見がありましたらお願ひいたします。

【委員】妊婦歯科健康診査の受診率が悪いことについて、妊婦さんに向けてのチラシづくりを去年から始めており現在作成中です。次回の令和 7 年度第 1 回のときには皆様に見ていただくことができるかなと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願ひします。

【委員】自費接種のため把握が難しいですが、RSワクチン接種の実態や子供のRSの流行の関係等を何らかの形で把握する方法を検討してぜひやっていただきたい。また、ぜひ RSワクチン接種に対して公費負担、公費負担が難しくても公費補助を検討いただきたい。ただでさえ分娩数が減っておりますので、浜松市のよい点を作る 1 つとして RSワクチン接種が公費補助というのも 1 つの手札になると思います。実態調査とそれを元にした公費補助への道筋を是非とも検討いただきたいと思っております。

【委員】それでは事務局より連絡事項がありましたをお願いいたします。

(11) 事務局より連絡事項

【事務局】1 点連絡事項を申し上げます。次回の会議である令和 7 年度第 1 回の開催につきまして、7 月頃を予定しております。会議の開催日が決まりましたら改めて委員の皆様にご案内をさせて頂きますので、よろしくお願ひいたします。以上となります。